



SHODA JO

生誕90年 正田壤展

芸術は遊びの極致

2018年2月2日(金)～4月8日(日)

開催時間：午前10時～午後6時（展示室への入場は午後5時30分まで）／休館日：月曜日（ただし、2月12日は祝日のため開館し、翌日火曜日休館）

主催：太田市、一般財団法人太田市文化スポーツ振興財團

後援：太田市教育委員会、NHK前橋放送局、エフエム太郎、太田商工会議所、株式会社エフエム群馬、群馬テレビ、上毛新聞社

協力：株式会社福音館書店、東武鉄道株式会社

太田市
美術館・図書館
ART MUSEUM & LIBRARY,
OTA



正田壌《虫(ダナエ)》1965年、群馬県立近代美術館蔵



正田壌《風の子》1982年、太田市立新田図書館蔵

人物、昆虫、動物などを独自のフォルムと

マチエール(絵肌)によって描き出し、ユニークかつ物語性あふれる世界を表現し続けた太田出身の洋画家・正田壌(1928-2016)。正田の生誕90年にあたる2018年、太田市美術館・図書館では、初期作品から晩年までの約50点によって生涯をたどる回顧展を開催します。

画家を目指していた父の影響もあり、幼少期から絵を好んでいた正田は、東京美術学校(現・東京藝術大学)を受験するも失敗、太田中学校卒業後、代用教員をしながら画家を目指して制作・発表に励みました。正田が、正田二郎、福田貂太郎、松本忠義、山口薰らから絵画を学び、1962年にはモダンアート協会会員となり、ついに独自のスタイルを確立するのは1964年のこと。1982年には、絵画に専心するため教員を退職、自らの様式を半世紀にわたって追求し続けました。

本展では、代表作のほか、スタイルを確立するまでの実験性をともなった初期作品や日々の研鑽のなかでなされた素描、絵本『まっかっかなむすめがまどからぞいでいる』(編:木乃美光、福音館書店、1973年)原画全17点などを、正田二郎、福田貂太郎、松本忠義、山口薰らの作品もまじえて展観します。自らの作品を「国籍不明、性別不明」と称し、「観ている人に、自由に物語を作ってもらいたい」と語る正田壌の生きいきとした作品をお楽しみください。

関連イベント Part.1

講演会「正田壌とクワガタと」

モダンアート協会を通して約30年の親交のあった森竹巳氏が、作品や人となりについてお話しします。

講師: 森竹巳(モダンアート協会会員、女子美術大学非常勤講師)

日時: 2018年3月3日(土)

午後2時~3時30分(1時30分開場)

会場: 当館3階視聴覚ホール

定員: 80名

観覧料

一般300(200)円

※()内は20名以上の団体及び太田市美術館・図書館カード、ふらっと両毛 東武フリーパスをお持ちの方。65歳以上、高校生以下、身体障害者手帳、精神障害者保険福祉手帳、療育手帳の交付者及びその付添人1人は無料。おおた家庭の日(毎月第1日曜日)は中学生以下の子ども同伴の家族無料。

お問い合わせ

太田市美術館・図書館

tel. 0276-55-3036

<http://www.artmuseumlibraryyota.jp/>

アクセス

〒373-0026 群馬県太田市東本町16番地30

東武伊勢崎線太田駅北口から徒歩1分。駐車場に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。市役所駐車場は3時間まで無料ご利用いただけます。



関連イベント Part.2

ギャラリートーク

本展担当学芸員が本展の作品や見どころについて展示室で解説します。

日時: 2018年2月10日(土)、3月10日(土)、

4月7日(土) 各午後2時~3時

会場: 展覧会場

関連イベント Part.3

つながる鑑賞会

展示作品をじっくり楽しく鑑賞していく、小・中学生を対象としたツアーです。

日時: 2018年2月24日(土)、3月24日(土)

各午後2時~2時40分

会場: 展覧会場

参加費はいずれも無料です。[1]は、当日10時より1階総合カウンターにて整理券をお配りします(先着80名)。[2][3]は、当日の開始時間になりましたら1階総合カウンター前へお集まりください(要観覧券)。



編:木乃美光、画:正田壌 『まっかっかなむすめがまどからぞいでいる』(「こどものとも」1973年12月号、福音館書店)※原画17点を展示します



山口薰《若い月の踊り》1969年、群馬県立近代美術館蔵



正田壌《十字架 63-2》1963年、新田安紀芳蔵



正田壌肖像、1993年、撮影:藤重朋紀